



「ポリオの撲滅は、公共保健の分野において歴史上最も重要な偉業となるでしょう。この目標を果たすために、私たちはロータリーという重要なパートナーと力をあわせ、全力を投入しています」

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団共同理事長、ビル・ゲイツ



## 未来に遺産を残そう

100万人以上のロータリアンが、ポリオ撲滅活動の成果に大きく貢献してきました。この活動にご協力いただく方法は、ウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) をご覧ください。

〒115-0045  
東京都北区赤羽2-51-3  
NS3ビル1階  
国際ロータリー日本事務局  
電話:03-3903-3192  
ファックス:03-3903-3781

ポリオ撲滅  
世界への贈り物

ロータリーの2億ドルのチャレンジ  
2008-12年



## 固い決意とともに



## これまでの進展



世界がポリオの脅威にさらされ、恐怖におののいていたのは遠い昔の話ではありません。ポリオ常在国が125カ国を上回っていた当時、この病気で1日千人の人々が麻痺障害によって体の自由を奪われ、中には命を落としていく状況の中で、何千もの家族が苦しんでいました。そして、その犠牲の多くが子供たちでした。

1980年代初め、こうした苦しみから人々を解放しようと、ロータリーは、民間団体による取り組みとしてはかつてないほど壮大な人道的プログラムの計画に乗り出しました。こうして、1985年、世界中の全児童にポリオの予防接種を行うために数百万米ドルを投じる「ポリオ・プラス」が発足しました。ロータリーの類いのない献身は周囲にも波及し、1988年、世界保健総会は、5千年にわたって人類を死と麻痺障害で苦しめてきたこの病を一掃することを決議しました。

以来20年間、ロータリーと主導パートナー（世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センター）は、世界で野生型ポリオウイルスを撲滅するため、休むことなく活動を続けています。ロータリーは、世界中のロータリアンの寛大な支援により、ポリオのない世界という夢の実現に向けて米貨7億ドル近くを投入してきました。

## すべての子供たちとの約束

末永く続く、素晴らしい贈り物

## さらなる挑戦



これまでの驚異的な進展にもかかわらず、世界にはまだポリオが存在しています。ポリオウイルスに国境はありません。ポリオ常在国からたちまち、ポリオのない国へ飛び火する可能性が残されています。たとえたった一人でも、世界にポリオの感染者がいる限り、子供たちがこの恐ろしい病にからずに済むという保証はないのです。

現在、ポリオとの闘いで最も懸念される課題は資金の確保です。既に莫大な資金が費やされていますが、ポリオ常在4カ国の子供たちすべてに引き続き予防接種を行っていくためには、さらなる資金が緊急に必要とされています。ビル・アンド・メリンド・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅に対するロータリーの懸命な取り組みと、その世界的なボランティアのネットワークを高く評価し、3億5千万米ドルの補助金をロータリーに提供しました。これに対し、ロータリーは、2012年6月30日までに、2億米ドルの資金を集めることを約束しました。国際ロータリーとゲイツ財団は力を合わせ、ポリオのない世界というロータリーの最優先目標に5億米ドル以上を提供することになります。

現実的で達成可能な目標

## 未来への遺産



ポリオ撲滅の仕事を成し遂げる絶大なるチャンスを迎えた今、ロータリー・クラブ、インタークト・クラブ、ローターアクト・クラブは、目標を達成するため、今後4年間、毎年募金活動を行うよう奨励されています。ロータリー家族のメンバー、特に比較的新しいロータリアンは、個人的に募金に協力することで、ロータリーの遺産に貢献するよう呼びかけられています。

ポリオの撲滅は、子供たちが野生型ポリオウイルスに感染して身体麻痺を患つたり、死に至ることがなくなることを意味します。さらに、ポリオ撲滅活動に費やされている年間10億米ドルを、ほかの保健問題への取り組みに利用することができるようになります。今こそ、行動を起こすときがやってきたのです。

1985年、国際ロータリーは、世界中の子供たちをポリオから守る、という歴史的な決断を下しました。それから20数年経った現在、世界はあと一歩でポリオの脅威から解放されるところまで来ています。皆さまからのご支援があれば、ポリオは必ずなくなります。

今こそ変化をもたらすとき